

自己評価報告書(最終報告)

報告者

特別支援教育専攻
／佐藤 公子

■平成23年度の目標に対する自己点検・評価

Ⅰ. 学長の定める重点目標

Ⅰ－1. 教育大学教員としての授業実践

本学の目的は、豊かな教養と教育実践力をもった教員を養成し、学校現場に送り出すことにある。このことを実現するには、教科専門・教科教育・教職専門等の各分野の授業が、学校現場の実践と関連性が保たれていることが必要である。あなたは、教員養成大学の教員として、本年度はどのような授業計画を立て実現しようとするのか、これまでの取り組み状況を総括し、具体的に示して欲しい。

1. 目標・計画

①実地教育担当者として、22年度に実施した実地教育学生アンケートおよび教員アンケートの結果を踏まえて授業内容の改善を図り、学生の指導・支援の充実に努める。
②各実習の事前事後指導においては、各実習の特性に応じた指導を展開し、学生の実習への見通しや意欲を高めることができるようにする。
③評価においては、授業の取り組み状況、教育実習録やレポートによって総合的に評価するとともに、実習録やレポートにきめ細かく目を通しコメントを添えることにより学生の教育実習や教職意欲の向上を目指す。

2. 点検・評価

①実地教育担当者として、22年度に実施した実地教育学生アンケートおよび教員アンケートの結果を踏まえて授業内容の改善を図り、学生の指導・支援の充実に努めた。具体的には、主免実習やふれあい実習の事前指導において実地指導講師を招き、附属学校の指導案の書き方、授業観察の仕方や授業記録の書き方について、学生の要望に応じて幼稚園、小学校、中学校の校種別指導を実施した。
②各実習の事前事後指導においては、各実習の特性に応じた指導を展開し、学生の実習への見通しや意欲を高めることができるように努めた。主免実習事前指導では、「先輩からのアドバイス」の配布、「自己評価チェックシート」の活用により、実習への見通しや意欲の向上を図った。ふれあい実習事前指導では、幼稚園教育について一本化を図る、校種別指導を取り入れることにより集中講義による学生の負担を軽減し、より学習効果が上がるようにした。また、授業観察の方法や観点例、授業観察記録の書き方等について具体例を示し、実習で活かせるようにした。
③評価においては、授業の取り組み状況、教育実習録やレポートによって総合的に評価するとともに、実習録やレポートにきめ細かく目を通しコメントを添えることにより学生の教育実習や教職意欲の向上を目指した。附属校園観察実習では実習録とレポート(幼・小で実習した学部生、院生、長期履修生)に細かく目を通し適正に評価した。ふれあい実習においても実習録、レポートに対しても細かく目を通し評価の観点に沿って適正に評価した。
④長期履修生が大幅に増加したため、主免実習、ふれあい実習の事前指導の授業内容を改善し対応した。附属校園観察実習では、長期履修生の増加に対応するため授業観察学級の割振りを行い、授業観察の改善に努めた。

Ⅱ. 分野別

Ⅱ－1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

①教育実習の円滑な実施と目標の達成を目指し、各実習の特性を考慮し、学生が主体的に教育実習に取り組むことができる環境づくりに努める。
②教育実習における学生のニーズを把握し、信頼関係を築きつつ個々の支援にあたる。
③教員の資質能力にかかわる、社会人として、教員として必要な言動や礼儀等について、適切に指導助言する。

2. 点検・評価

- ①教育実習の円滑な実施と目標の達成を目指し、各実習の特性を考慮し、学生が主体的に教育実習に取り組むことができる環境づくりに努めた。具体的には、各実習の特性に合わせた事前指導を十全に行い実習に繋げた。また、附属学校、鳴門市小・中学校における学生の実習状況や現場のニーズを詳細に把握し、問題や課題の解決・改善に向けて個々に対応した。
- ②教育実習における学生のニーズを把握し、信頼関係を築きつつ個々の支援にあたった。具体的には、事前指導時、実習中はできるだけ学生に声をかけ、個々の学生の状況を把握するように努めた。主免実習中は附属学校に連日足を運び、アドバイス等により実習をサポートした。
- ③教員の資質能力にかかわる、社会人として、教員として必要な言動や礼儀等について、適切に指導助言した。具体的には、事前指導で周知徹底するとともに、服装や態度等について個別の指導が必要な学生には附属学校教員と連携する等によりその都度指導した。
- ④教務課や専攻教員、附属教員と綿密に連携を図り、実習中の事故や問題等に速やかに対応した。特に副免実習においては、学生が意欲をもって実習に臨めるように様々なサポートをした。

Ⅱ-2. 研究

1. 目標・計画

- ①LDの指導、アセスメントの活用等、特別支援教育に関する研究を進める。
- ②教員の資質能力、教師像、キャリア教育等をキーワードに、教育実習や教員養成に関する研究を進める。

2. 点検・評価

- ①LDの指導、アセスメントの活用等、特別支援教育に関する研究を進めた。具体的には、大阪LDセンターの見学、ビジョントレーニング講習参加を通して、LDの指導に関する研究を深めた。また、学校現場で活かせるアセスメント法についての研究をまとめ、附属特別支援学校の夏季研修で講師を務めた。特別支援教育支援員の活用についての実践事例をまとめ、LD学会でポスター発表した。
- ②教員の資質能力、教師像、キャリア教育等をキーワードに、教育実習や教員養成に関する研究を進め、各実習の事前事後指導に活かした。
- ③学校心理士会、発達性ディスレクシア研究会に参加し、特別支援教育や発達障害に関する研究を進めた。
- ④教大協研究集会に参加し、教員養成や教育実習に関する研究を進めた。

Ⅱ-3. 大学運営

1. 目標・計画

- ①実地教育の充実と円滑な運営により、実地教育担当教員としての本務を遂行する。
- ②実地教育専門部会、教職実践演習実行委員会、附属学校運営委員会に出席し、審議に参画する。

2. 点検・評価

- ①実地教育の充実と円滑な運営により、実地教育担当教員としての本務を遂行した。具体的には、センター長、実地教育支援アドバイザー、教務課実地教育担当者等と綿密に連携を図り、事前事後指導や実習中の支援、連絡調整等を行った。特に副免実習で生じた問題については、関係者との連絡調整を迅速に行い対処した。長期履修学生への対応は、長期履修アドバイザーと連携して支援にあたった。本年度は、主免実習、副免実習の打ち合わせや反省のための会を新たに設け、附属校園の実習担当者、教務課担当者とともに、実習の円滑な実施に向けて綿密に連携を図った。
- ②実地教育専門部会、教職実践演習実行委員会、附属学校運営委員会に出席し、審議に参画した。学部教務委員会には、実地教育担当教員の代理出席をした。
- ③教員免許状更新講習の必修領域において講師を務める、公開講座やアドバイザー派遣事業に積極的に参画するなどした。

Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携、国際交流等

1. 目標・計画

- ①教育実習や研究において、附属校園との連携を密に図る。(附属学校)
- ②特別支援教育専攻主催のシンポジウム、公開講座等に積極的に参加するとともに、教育支援アドバイザー等の活動を通じて社会貢献する機会をもつ。(社会連携)
- ③実地教育や特別支援教育に関してJICA等の国際協力事業に貢献できる機会があれば、積極的に貢献する。(国際交流)

2. 点検・評価

- ①教育実習に関しては前述したとおり附属校園と連携を密に図った。実習中は、附属幼・小・中・特別支援学校にできるだけ足を運ぶ、実習担当教員を中心に密に連絡を取り合う等により綿密に連携を図った。附属幼稚園の運動会、附属小学校の運動会、オープンスクールに自主的に参加した。研究に関しては、附属特別支援学校の夏季研修会で講師を務める、小学部の研究協力者として授業研究会等に参加する、研究会の司会を務めるなどした。(附属学校)
- ②特別支援教育専攻主催の公開講座、徳島事例検討会、シンポジウムに積極的に参加し、専攻内の役割を果たすとともに、参加者の教員や保護者等に具体的な助言等を行った。教育支援アドバイザーとして、学校現場のニーズに応え上限9回にわたり小学校の特別支援教育の推進に貢献した。(社会連携)
- ③「日本の文化と教育」の1コマを担当し、本学の教育実習について講義した。(国際交流)

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)

- ・昨年度に引き続き、実地教育担当者間での教育実習の業務分担の格差により、授業、学生支援、連絡調整等の実地教育に関する業務のほとんどを担い遂行したことは、本学の運営に貢献したと思われる。
- ・H22年度中期計画に係る実地教育教員・学生アンケートの結果を踏まえ、各実習の事前事後指導の改善等により積極的に学生の指導・支援の充実に努めたことは、教育実習の円滑な実施や学生の実践力の向上に繋がるものであり、微力ながら大学に貢献したと思われる。